

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年5月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4691600052号
法人名	社会福祉法人 博寿会
事業所名	グループホーム 高松みどりの里
所在地	鹿児島県曾於市末吉町諏訪方6875番地 (電話) 0986 - 76 - 7828
自己評価作成日	平成23年2月23日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年3月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・当事業所は自然に恵まれ、家族の面会に限らず、地域住民の方々がグランドゴルフの場として活用されるなど、人の出入りの多いところであります。今後はさらに地域交流を活発にすることで地域に根差し、利用者様が地域で暮らしていること、地域の一員が在れる事業所になるように努力していきたいと思えます。

・小規模多機能ホームが併設されており、環境の変化があまりなく在宅から入所サービスに移行でき、スムーズに入所できる。また、小規模多機能ホーム利用者様との面会・交流の機会も多く、入所ゆえの閉塞感がなく過ごせるホームである。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、田園風景が美しい自然豊かな環境に立地されている。併設されている同法人の小規模多機能ホームとは運営も利用者に対する支援も共有化されており、両施設の職員が協働する事で、情報交換が取り易く、課題点はスムーズな解決につなげ、併設運営の利点を上手に生かした取り組みが行なわれている。広く採光に配慮した共用生活スペースからは、道路を行き来する車や園庭での地域住民の奉仕活動、グランドゴルフ競技の姿などが眺められ、利用者にも閉塞感を感じさせない住環境になっている。管理者、職員は利用者、家族との信頼関係の構築、個別ケアを重視したサービス提供に努め、利用者の安定した日常生活につなげている。開設2年目ではあるが、地域とのつながりも強く、非常時に対する近隣住民協力隊を置くなどし、利用者の安心、安全体制づくりにも前向きに努めているホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	開苑当初より、理念とともに職員の心得を掲げており、日々確認し業務にあたっている。	社会福祉法人の理念、職員の心得を玄関、事務所、パンフレットに掲げ、管理者、職員は日々の実践につなげている。また職員は利用者が安心して生活できるよう自分たちの短期的目標作りにも取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣住民の方々に協力員となって頂き、定期的に説明会を行っており、また周辺集落の方々に庭を開放したりしている。	地域住民のグランドゴルフ場としてホームの園庭を開放し、利用者は交流を楽しんでいる。小規模多機能ホーム利用者、面会者、近隣者と日常的に交流している。高校生のボランティア慰問、中学生の職場研修なども受け入れている。また、地域協力員制度を設け、ホームと地域のパイプ役としての活動を依頼している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	利用希望者だけでなく、地域の方々の症状や制度・施設の説明に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に関催し、利用状況の説明や意見・要望を聞いている。	定例化している運営推進会議は現状報告や消火訓練の実施状況などを報告し、意見交換が行われている。運営会議とは別に協力員会も年2回実施し、利用者の状態、避難方法、車椅子の置き場所や操作の仕方など体験研修している。議事録は玄関において閲覧できるようにしている。職員には申送りで内容を伝えている。	

鹿児島県 グループホーム高松みどりの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議の参加と共に、地域包括支援センター主催の2カ月おきの連絡会への参加や随時相談をしている。</p>	<p>市開催の会合や会議への参加、随時、事業所の実情を報告、相談をしている。また運営推進会議を通して事業所の実情などの報告を行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束の勉強会を開催し、職員への周知徹底を行っている。</p>	<p>職員全員が認知症の特性を理解し、鍵をかけないケアが出来ている。重要事項説明書にも身体拘束についての文書を掲載し、全職員で言葉の暴力など勉強会をもち、身体拘束の無いケアに取り組んでいる。また外出願望の強い利用者は職員がさりげなく寄り添い見守っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止の勉強会を開催し、職員への周知徹底を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>勉強会等行えておらず、勉強不足である。</p>		

鹿児島県 グループホーム高松みどりの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約の際は、重要事項等の書類を含めた説明と質問に答え、理解を得られるように心掛けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	本人様との会話や、ご家族面会や連絡等にて意見・要望を確認している。	利用者の担当職員を決め、家族には園便りで行事や利用者の様子を報告している。また面会時や電話などでの意見、要望を聞いて運営に反映させている。利用者からは日常の会話を傾聴し要望を把握できるように配慮している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に職員会議を行っており、職員の意見を取り入れるように努力している。	主任を中心に毎月のミーティングに意見交換の場を設け、個別のケアサービスや運営に反映させている。時には親睦をかねた職員会議を設定することもある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況や有資格を考慮した雇用形態のとりようになっている。		

鹿児島県 グループホーム高松みどりの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者とともに研修方法や機会の確保に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>2カ月おきの曾於市のグループホーム・小規模多機能の会（連絡会）に参加し、市主催の勉強会に管理者はじめ職員も参加して、知識の向上を含めた事業所との交流の場に活用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設の見学や自宅等の訪問を行い、事業所に対する理解をして頂けるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設の見学や自宅等の訪問を行い、事業所に対する理解をして頂けるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に、当事業所の利用に限らず、その方の状況に応じて介護サービスの活用や他事業所の案内も含めて行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事やお茶を一緒に行うことで、一緒に生活している共同生活者となるように努力している。		

鹿児島県 グループホーム高松みどりの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会など事業所に足が運びやすくなるように、困難時の時だけ声をかけず、何気ない会話ができるように心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の方以外の周辺集落の方々の面会もあり、またお墓詣りに付き添うこともある。	墓参りや自宅に帰ったり、ホームの園庭でのグランドゴルフに来た地域の人々と交流したり、県下一周駅伝応援に出向くなど、なじみの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格も考慮した上での生活環境を考えている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約の終了後も、連絡をとったり担当の方と連絡を取っているが、一定期間である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意向を確認した上でのプラン立案や、日常の介護に努めている。	職員は、必ず1日1回は利用者1人1人に挨拶をして本音を話してもらえる信頼関係作りに努めている。余裕がある時は1名を平常勤務からはずしてフリーにし、利用者を一歩ひいた感覚で観察できる時間を設け、利用者の思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時のアセスメントだけに限らず、会話や家族からの情報収集で、把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入所前の生活状況を踏まえ、日々の生活状態を観察し、個々の生活リズムで過ごせるように努力している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の意向確認を行い、ミーティングにて評価・検討を行っている。	家族、利用者の意見を聴いて定期的にケア会議、モニタリングを開催し、個別的な介護計画を作成している。日々、利用者の行動などを記録し、定期的な見直しのほか、状態変化や入退院後も現状に即した、チームとしての方向性の明確な介護計画を作成している。	

鹿児島県 グループホーム高松みどりの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別に記録を記載し、情報の共有や評価につなげられるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時の状況に応じて、個別の外出や計画以外のケアなど、できるだけ対応できるように心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ボランティアの参加や、家族以外の友人や知人の面会があるなど、地域に根付いた家になるように努力している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関はあるが、入所前の主治医を継続するなど、希望や経緯を踏まえて支援している。</p>	<p>本人、家族の希望するかかりつけ医や、またその他の医療機関とも連携し、適切な医療が受けられるよう支援している。歯科受診も本人、家族の希望を聞いてホームで対応している。受診報告は電話や個別のホーム便りで報告している。</p>	

鹿児島県 グループホーム高松みどりの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期受診・往診以外にも必要に応じ連絡を取り合っている。また、当事業所の看護師や併設事業所の看護師との連携も行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院所の面会や、家族の相談などに努めている。病院関係者とも、現状の確認や今後の方針について連絡を取り合っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に当施設でできることとできないことの説明を行い、重度化時の対応をその都度検討するようにしている。	重度化などにより医療管理などが必要となった場合の、事業所の方針を口答で説明し同意を貰っている。現状として事例は無いが、今後、ホームでできる最大限のケアについて話し合いを重ねていく意向である。	家族、医師、ホーム側の職員で話し合いを重ね、ホームでできる最大限の支援を文書化し、全員が方針を共有する事が望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会の開催や資料配布などにて、知識・技術の向上に努めている。		

鹿児島県 グループホーム高松みどりの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な消防訓練の開催や、近隣住民の方々に協力隊になって頂いている。</p>	<p>年2回夜間想定避難訓練を行い、また自主訓練も2回実施している。協力隊として地域住民の協力も得ている。スプリンクラーの設置や備蓄もできている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ミーティング等にて、人格を尊重した対応を行うように啓発している。	基本ケアのマニュアルを新職員に配布し、指導・教育を徹底している。利用者を人生の先輩として尊敬し、一人ひとりの人格を尊重した言葉かけや対応に取り組んでいる。年1回は見直し、より良い接遇に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様や家族との会話、また生活歴を参考に、本人様や家族と相談して出来るだけ自己決定できる様にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団生活にとらわれない個々の生活リズムの確立や、その時々々の意向に沿えるように心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々の今まで使用されていたものを持ち込んで頂き、継続できるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューを利用者と一緒に考えたり、調理でも皮むきや調理レクなど可能な作業を行える機会をできるだけ持つようにしている。	利用者の声を献立に取り入れたり、調理の手伝いや下膳、台拭きなど、利用者のできることは職員の見守りのもと、一緒に行い、食事安全に摂取できるよう利用者席の配置を考え、個々のペースで美味しく・楽しい食事になるように配慮している。	

鹿児島県 グループホーム高松みどりの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	病気や嗜好をできるだけ考慮して、必要な食事・水分量が摂れるように努力している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を活用し、担当職員や排せつ委員が中心となり評価・検討している。	排泄量の記録基準も決めて日々の変化が一目瞭然に分かる個別排泄状況表を作成し、利用者の排泄パターンを把握している。腹部マッサージなども行い、自立支援につながっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表を活用し、担当職員や排せつ委員が中心となり評価・検討している。また、状況に応じて医師や看護師のアドバイスを取り入れている。		

鹿児島県 グループホーム高松みどりの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的な予定は組んでいるが、健康状態や気分、習慣を考慮して行っている。	週3回を基本に、状況に応じた見守り個浴を支援している。お風呂嫌いの利用者にも、職員の声掛けを行い個々に応じた工夫に取り組んでいる。利用者の状況は送り簿に記載し、職員全員が共有し改善を図っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入眠時間もまちまちで、個人のリズムやその時の状態で過ごして頂くように配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	『薬の紹介』を個人台帳に綴り確認できるようにしており、新たな処方時は送りノートや口頭での伝達も行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や希望を基に、ケアプランをはじめ、日々の生活や行事に取り入れている。 *家事や嗜好品など。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	苑外の外出は多くないが、広い苑庭での散歩や運動をできるだけするようにしている。	日常的に広い芝生の苑庭を散歩したり、ドライブ、買い物など個別に支援している。ホームで計画を立てて、初詣、花見、外食など外出の機会を設けている。また地域行事への参加も積極的に行っている。	

鹿児島県 グループホーム高松みどりの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>職員で管理しており、利用者様が支払いをする機会は確保できていない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人様や家族の希望時は、いつでもできるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用生活スペースからは、外が眺められるようになっており、開放感がある空間となっている。利用者様がひなたぼっこや風にあたりたりされている。</p>	<p>天井が高く、広くて明るい清潔感ある共有空間には、こたつが置かれた畳コーナーもあり、利用者が個々にテレビを見たり、くつろいだりと居心地良く過ごせるように配慮されている。道路に面して窓が大きく作られた開放感のあるリビングからは、芝生のきれいな広い園庭が望まれる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用スペースも、食事の場所・テレビの前のソファ、掘りごたつ式の畳など、好みや気分で各々が過ごせるようにしている。</p>		

鹿児島県 グループホーム高松みどりの里

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>備え付けのベッド以外は自宅より持参して頂き、また写真や遺影の持参など個人の空間となるようにしている。</p>	<p>ベッドは備え付けで寝具もリースであるが、毛布や枕は利用者の希望に沿っている。タンス、椅子、テレビや家族の写真などなじみの物をおいて居心地良く過ごせる個別性のある居室になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>キッチンも対面式でできるだけ参加できるようにしており、手すりの設置やバイアフリーにするなど活動の制限がないようにしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム高松みどりの里

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム高松みどりの里

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない